

日本感覚統合学会における代議員の役割について

日本感覚統合学会では、会員の皆さまの声を反映した運営を実現するため、**代議員制度**を設けています。代議員は、「会員代表」として大切な役割を担っています。

【代議員の主な役割】

1. 会員の声を集約し、代表として学会（理事会等）へ届ける

代議員は、自分の地域や所属分野の会員から寄せられるご意見やご要望、あるいは学会活動についての意見等をまとめ、必要に応じて本会の理事会や総会で発言します。

2. 運営に関わる重要事項の審議および意思決定に参加する

代議員は、年に一度の総会や代議員会等 必要な会議に出席し、以下のような事項についての議論・決定に参加します。

- 予算案および決算報告
- 規約の制定・改正
- 学会の活動計画や事業内容
- 学会の運営方針
- など

***理事選出など、学会組織の基盤づくりに関わる活動**：代議員は、学会の中心となる理事の選出にも参加します。学会運営を支える人材を選び、組織の安定的な発展に寄与することも重要な役割です。

***学会の発展に向けた提案や改善の役割**：代議員は、会員の声や現場の実態を踏まえて、「こんなことを学会で取り組んでほしい」「こうすればもっとよくなるのではないか」といった提案や改善案を学会に提起することができます。

これにより、会員全体の利益と公平性を保ちながら、学会運営が行われます。

3. 会員への情報共有と報告

会議で決まったことや今後の方針、学会からのお知らせなどを、所属する会員へわかりやすく伝える役割があります。これにより、本会の活動内容や運営状況を会員全体で共有し、透明性と信頼性の高い組織運営が実現します。

【なぜ、代議員制度が必要か？】

- 会員数が多いことや所属地域・専門分野が多様であることから、すべての会員の意見を理事だけで把握するのは難しいため。
- 代議員を通じて、多様で幅広い意見を取り入れることで、公平性と民主性の高い学会運営を可能にするため。
- 学会が理事だけで運営されるのではなく、会員一人ひとりが学会運営に参画しているという実感と安心感を得られるため。